

公社賃貸住宅『フルリノベーション』業務の事業者を選定しました

北九州市住宅供給公社は、平成29年度から入居率が低下している一部の団地において、リノベーション住戸の供給による団地の活性化に取り組んでいます。

リノベーション事業は、若年・子育て世代や、高齢者世代の多様化するライフスタイルの変化を踏まえた工夫あふれる住戸の提供を目指して、民間企業の有するマーケティングや企画力並びに施工能力等の総合力に期待し、プロポーザル方式にて実施しています。

今年度は、久岐の浜シーサイド団地において、子育て世帯をターゲットに訴求力のある住戸プランの提案を募集し、事業者を選定しましたのでお知らせいたします。

1 対象団地 久岐の浜シーサイド団地（4戸、3LDK、専有面積68.68m²、若松区）

2 選定事業者 団体名：北九州COSMOSクラブ（株式会社AEA設計室、株式会社東建設、株式会社光ハウジング）

3 選定案概要

～ワーママ応援！働くママのためのくらし提案～



ワーママとは、「ワーキング・マザー」の略語です。

育児と仕事を両立するママのことで、共働き世帯の増加とともにワーママも増えています。

就学前の子供をもつワーママへのアンケートによると、「自分の時間を持つこと」ができるないと答えた女性は91%にのぼります。

その他は「家事」が65%、「仕事と家事の両立」が54%、「育児」が51%となっており、半数以上が家事や育児を満足に行えていないと回答しました。

時間に余裕がなく、くつろぐ時間が取れないワーママは多くいます。

専業主婦と比べ、子供との時間が減るのもデメリットです。

食事の支度やお風呂・歯みがき・寝かしつけなどに時間をあてるため、子供と遊んであげられるのはわずかな時間しかありません。

より少ない時間の中で子どもや家族とのコミュニケーションが取れ家事ストレスを減らすことが間取りを工夫することでできないか。

実際の生活の中でこんなスペースが欲しい！という意見を盛り込みよりすこしやすい暮らし方を提案致します。



persona

- ・20歳代前半 夫婦(対象は主に妻)
- ・子ども 1人
- ・会社員(正社員・共働き)
- ・コロナ禍のため夫婦ともにテレワークが増える
- ・家で仕事をしていても子供が邪魔をする
- ・子どもが小さいので部屋にこもって仕事ができない
- ・家にいる時間が増え家族にイライラしがち



NPO法人北九州COSMOSクラブとは

本提案企業体はNPO法人北九州COSMOSクラブの会員により構成されております。

NPO法人北九州COSMOSクラブとは建築関連業務に従事するメンバーで構成されており業務の分業化が可能な団体です。

会独自のコミュニティにより【設計→施工→斡旋】として連携をとり、よりスムーズかつ各々のステージでの経験を活かした自由な提案を可能にします。

■設計内容説明



1 壁面に有孔ボードを設置しランドセルや手提げを自由にひっかけて収納

2 マグネットクロスをカウンター前に一部設定し家族の連絡事項を全員が見える位置に

3 床の材質を変えワークスペースとして区切る。足触りの良い籐素材を採用し子どもが床に座って遊びたくなるような工夫

4 ワークスペースで遊ぶ子どもを見ながらリモートワークが可能な位置にカウンターを設置。子どもが勉強する机としても使える

5 対面キッチンとし家事をしながら家族の様子を見渡せるように計画。下がり壁をなくして視界を広くする。子どもが勉強する様子や遊ぶところを確認しながら作業ができる

6 吊戸棚をキッチン背面に設置する。手の届く位置まで低めに設定し使いやすく設定する

7 大きめのWCLを寝室に設置し大きな物や布団なども自由に収納できるように

8 玄関が暗くならないように子ども部屋の入り口をカーテンに



有孔合板壁イメージ



キッチンイメージ



ワークスペースイメージ

■設備概要



システムキッチンL2100



1116サイズ ユニットバスを更新



洗面ユニット間口 750mm



シャワートイレ付トイレ
節水・清掃性に配慮した製品への交換



トイレ・洗面タオル掛け
ペーパーホルダー